

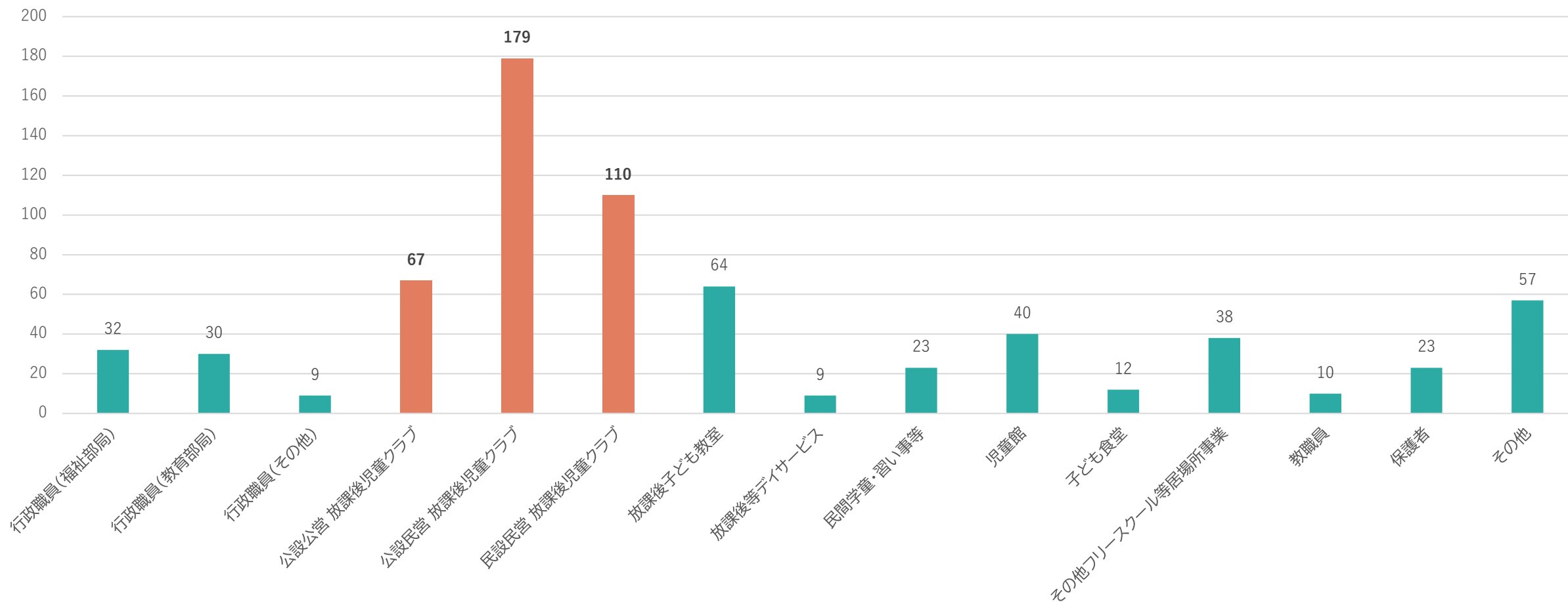
第7回放課後勉強会 「インクルーシブな居場所づくり ～困り感を抱えやすい子への関わり方・支援～」

事前アンケート結果

2024年10月16日(水)

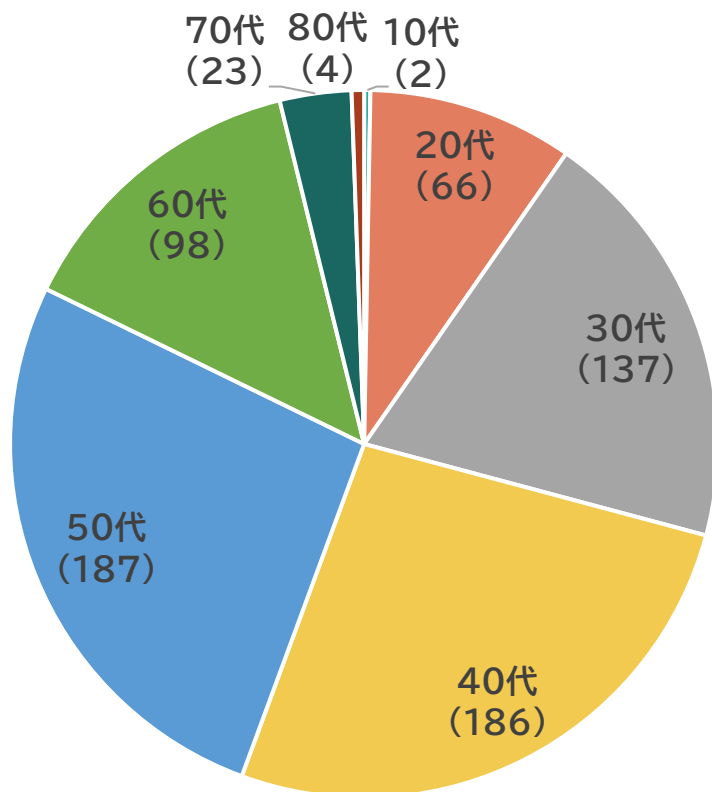
対象者	放課後児童クラブや放課後子ども教室等子どもの居場所に関わる方、行政職員等
調査期間	2024年9月6日～10月9日
調査方法	第7回放課後勉強会申込者へのWEB調査
回答数	704件
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・所属属性、年代、従事年数・流入経路、参加実績、申込理由・「困り感」を抱えやすい子の受け入れへの課題感・関わり方・対応に迷う場面・状態・課題に感じている具体的な場面・受け入れ・関わりにあたって必要なサポート・運営に対する自己評価や第三者評価の実施有無、実施方法、未実施理由

回答者属性：所属属性（N=704）

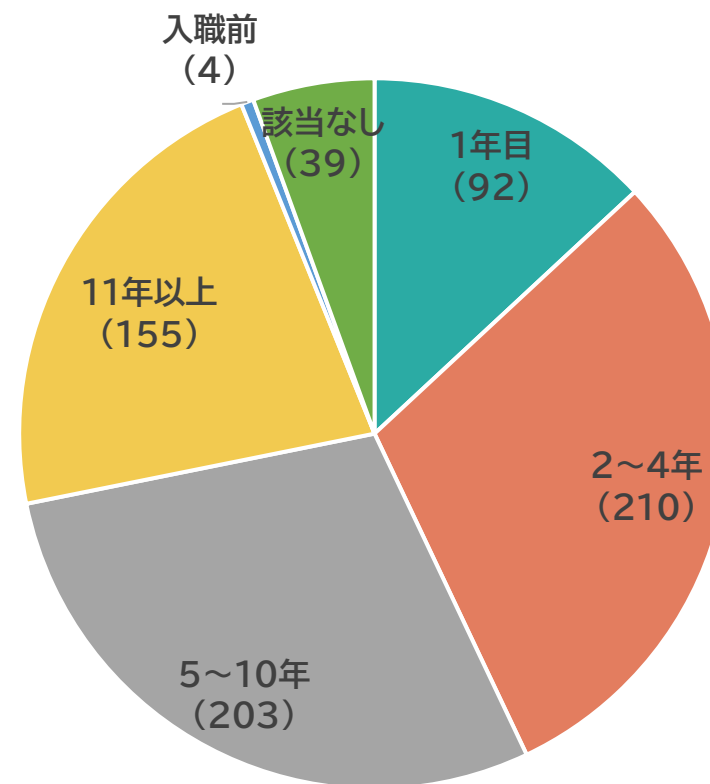


公設だけでなく民設の放課後児童クラブをはじめ、
放課後子ども教室や児童館等子どもの居場所に関わる方からのご参加も

Q.年代(N=704)

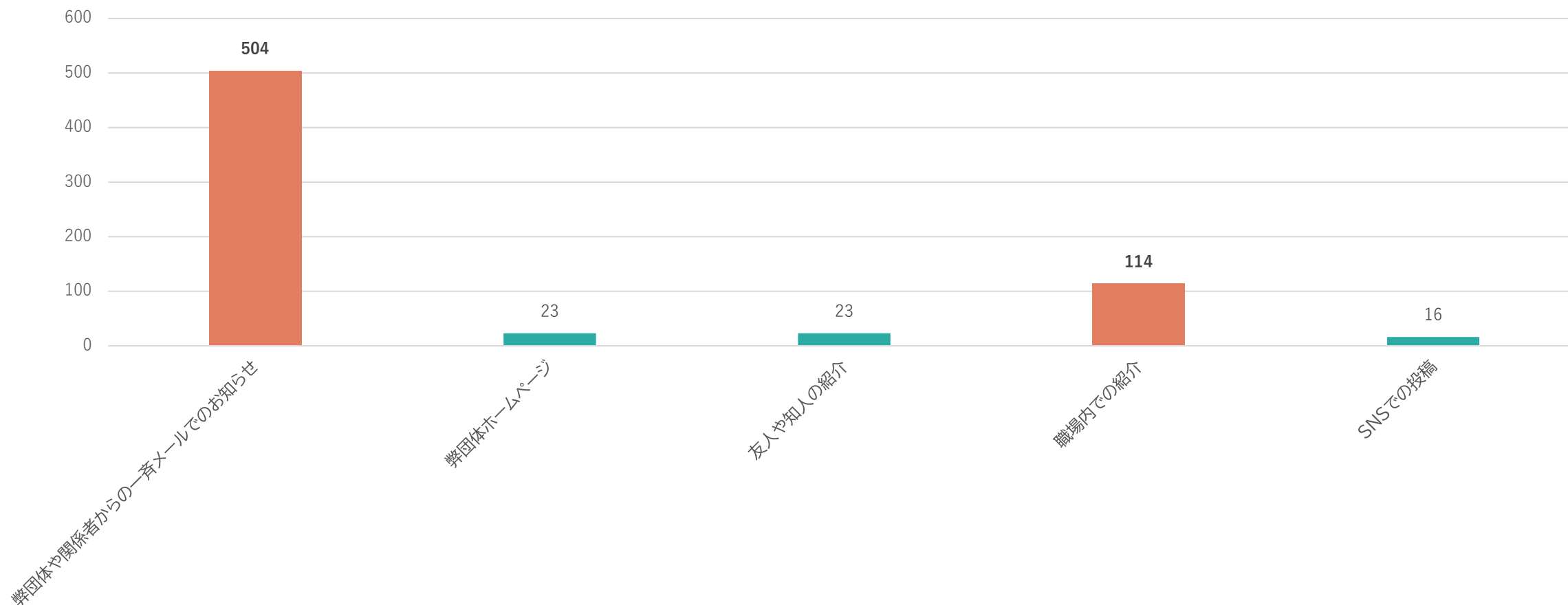


Q.現在の事業・活動への従事年数(N=704)



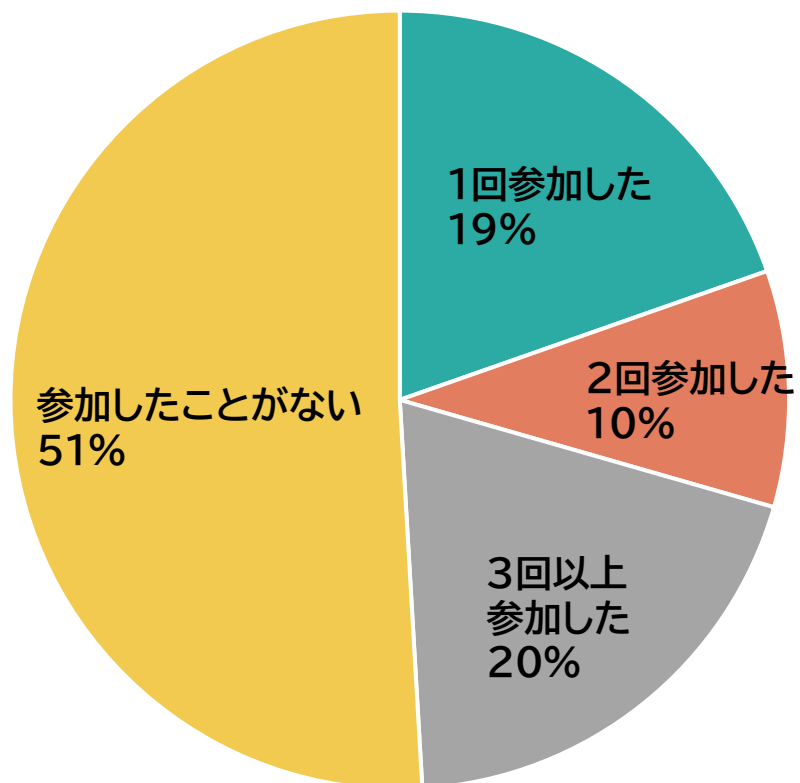
30～50代を中心に幅広い年齢層
様々な従事年数の方のご参加

Q.どのように勉強会の情報を知りましたか。(N=704)



これまでに接点のある層へのメールが最も多く、次いで職場内での紹介

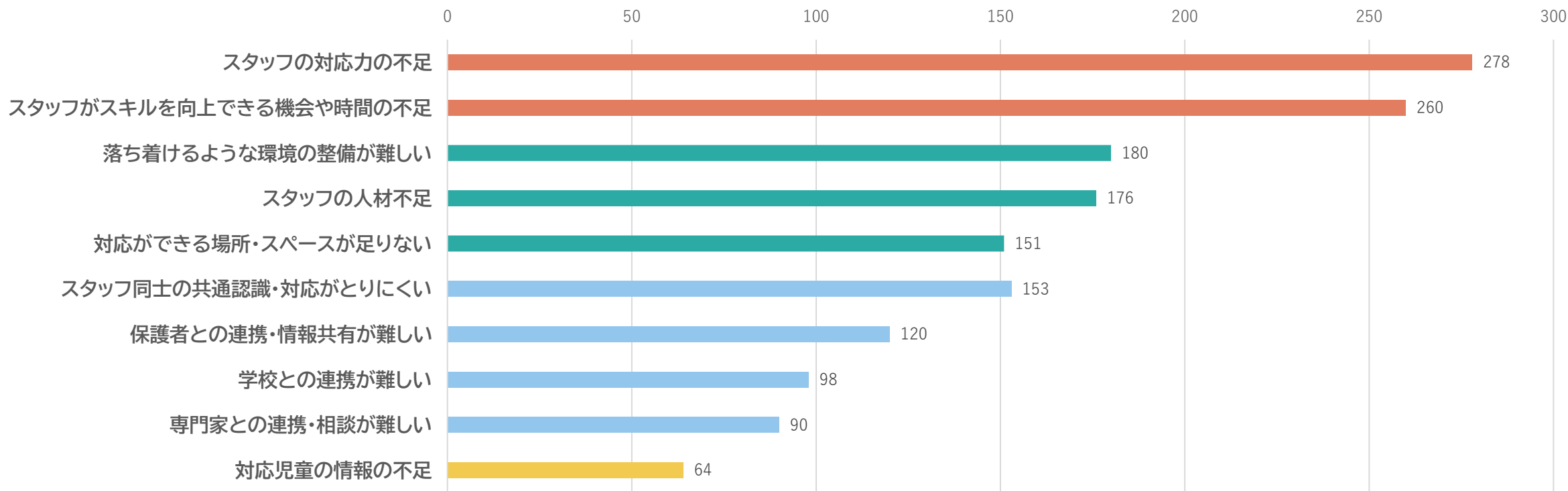
Q.これまでの参加実績(N=704)



初めての参加の方が5割、3回以上参加の方が2割

「困り感」を抱えやすい子の受け入れへの課題感

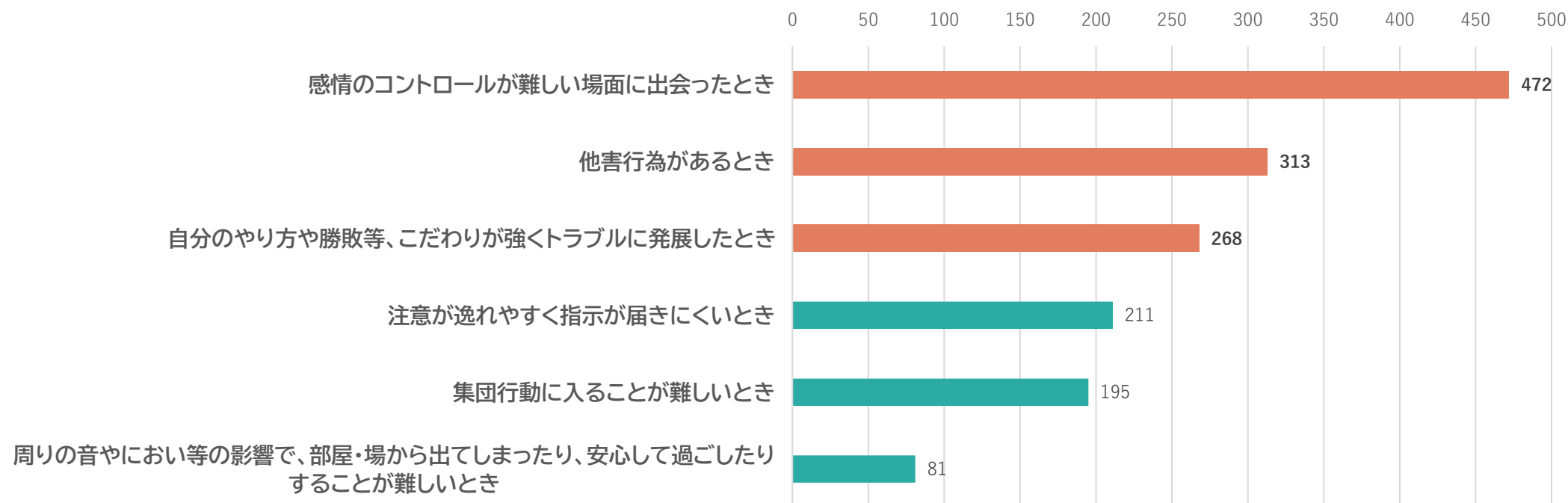
Q.「困り感」を抱えやすい子どもたちの受け入れにおいて、スタッフの皆様が悩んでいることをお聞かせください。
(※3つまで複数回答可) (N=704)



スタッフの専門性・対応力不足、人員やスペースといった物理的環境の制約、
関係者との連携が多く見られた

Q.特に「困り感」を抱えやすい子との関わり方・対応に迷う場面や状態についてお聞かせください。

(※3つまで複数回答可) (N=704)



感情のコントロールの難しさ、他害やトラブルへの発展が多く上がった

課題に感じている具体的な場面（FA抜粋）

Q.具体的にどのような場面に迷っている・悩んでいらっしゃるか、差し支えない範囲でお聞かせください。

（※任意） N=99

トラブルや他害等への対応関連の声

怒りが出ると同時に手が出てしまい、話が出来ようになるまでに時間を要する

ゲームの勝ち負けなど自分の思い通りに行かないと物に当たる。直接人に攻撃することはないが机や棚をひっくり返したりガラスを割ったりするので、周囲をケガさせないか心配。女性スタッフ一人では制止が困難。

うまくみんなと関わるができなかったり、やりたいことがあるとそれが他の人に迷惑がかかることでも我慢できなかったり、人のものを隠してしまったり、からかってきた子に暴力したりなど対応に困っている

感情過多になった児童が出た際に、その児童に職員がつきっきりにならざるを得なくなる。
その結果、他児童への見守りが行き届かなくなる

室内での大声や走り回りなど、指導員の指示が届かなくなってしまう

スタッフや保護者との連携関連の声

職員の共通理解がなかなか保てない

医療機関で診断が出ているが、保護者がそれを認めていないため、保護者対応に苦慮している

母が諦めきっており、愛着の形成ができない。母の関わりを増やしたり、療育を受けることを勧めても聞き入れない。

学校・家庭・児童館それぞれの連携がうまくとれない

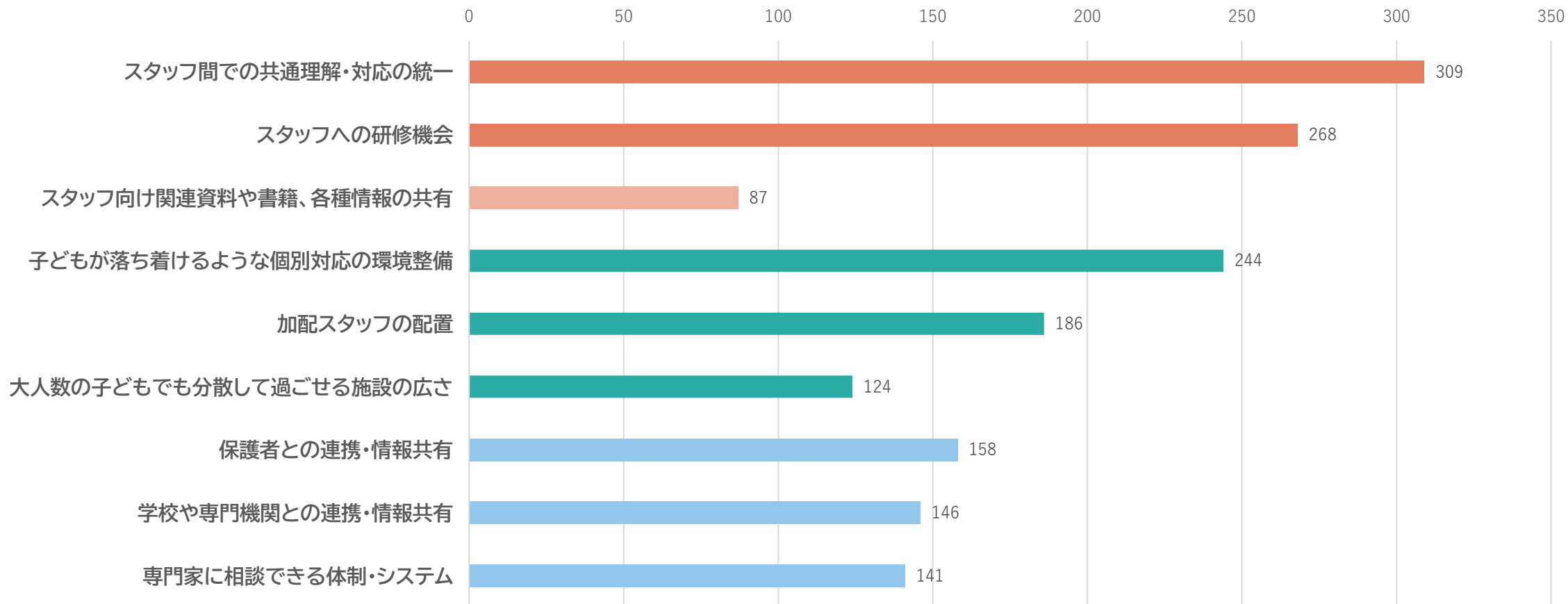
その他の声

特別扱いを羨ましがって「自分も！」という子どもたちが居て教室全体が落ち着かなくなる。

集団行動の中で関わっていくので、その子だけに時間をかけてあげる余裕も人も知識も足りない

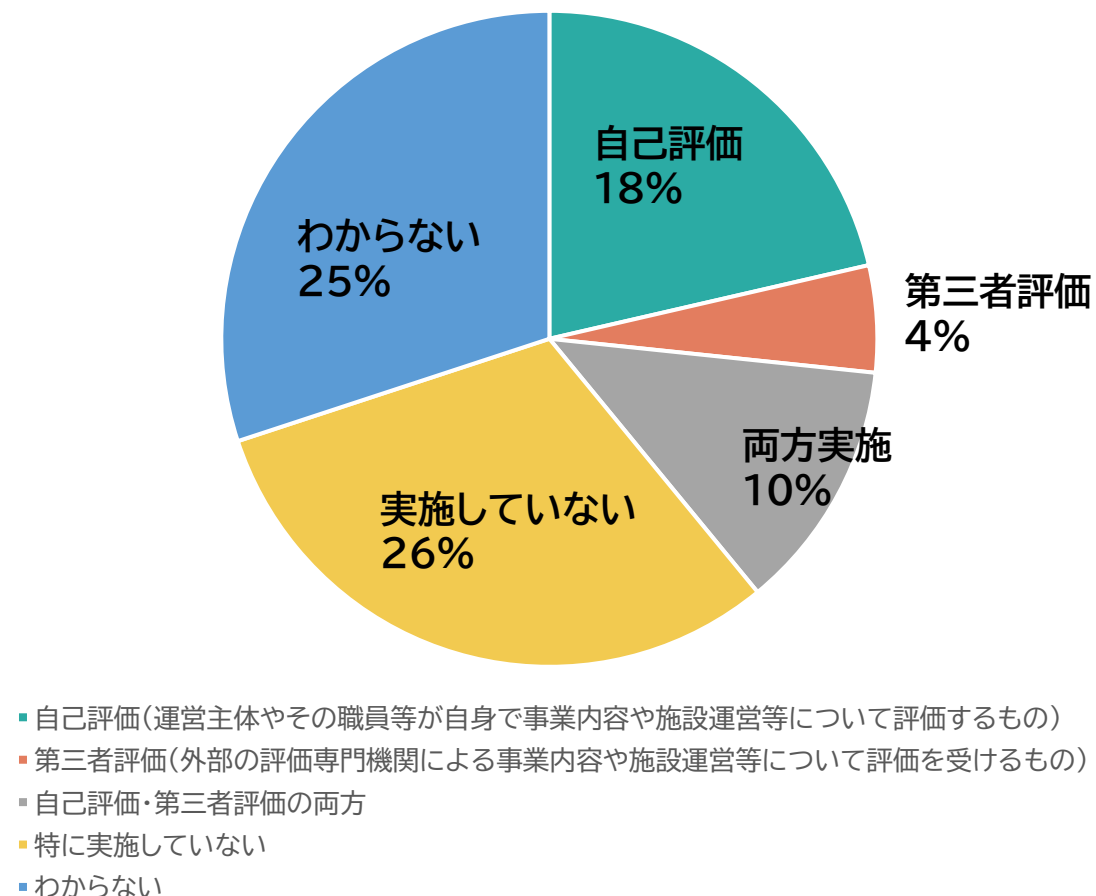
落ち着かせる部屋も環境も整わず、支援員の数も足りない

Q.「困り感」を抱えやすい子どもたちの受け入れ・関わりにあたってどのようなサポートがあるとよいですか。
(※3つまで複数回答可) N=704



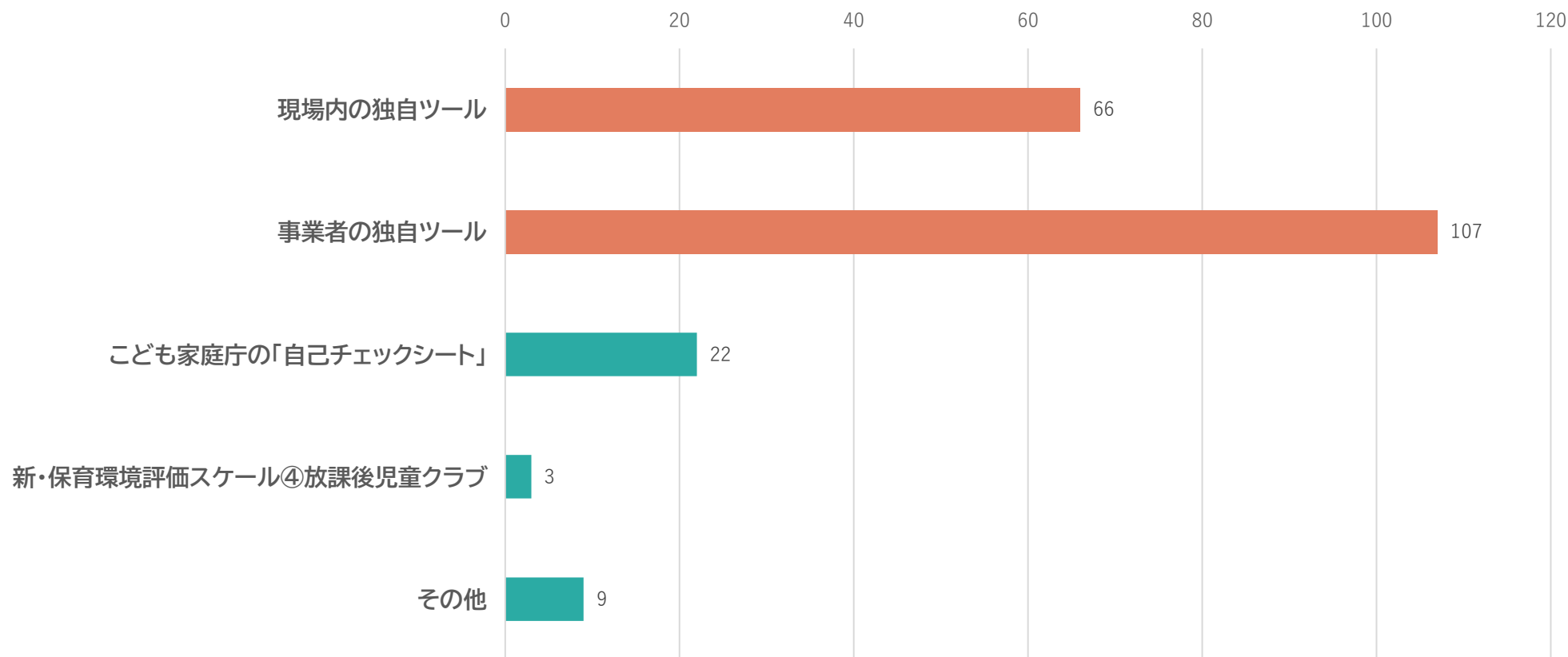
スタッフの連携やスキルアップ、環境や人員の物理的環境へのニーズ

Q.運営内容に対して自己評価や第三者評価を実施されていますか。N=704



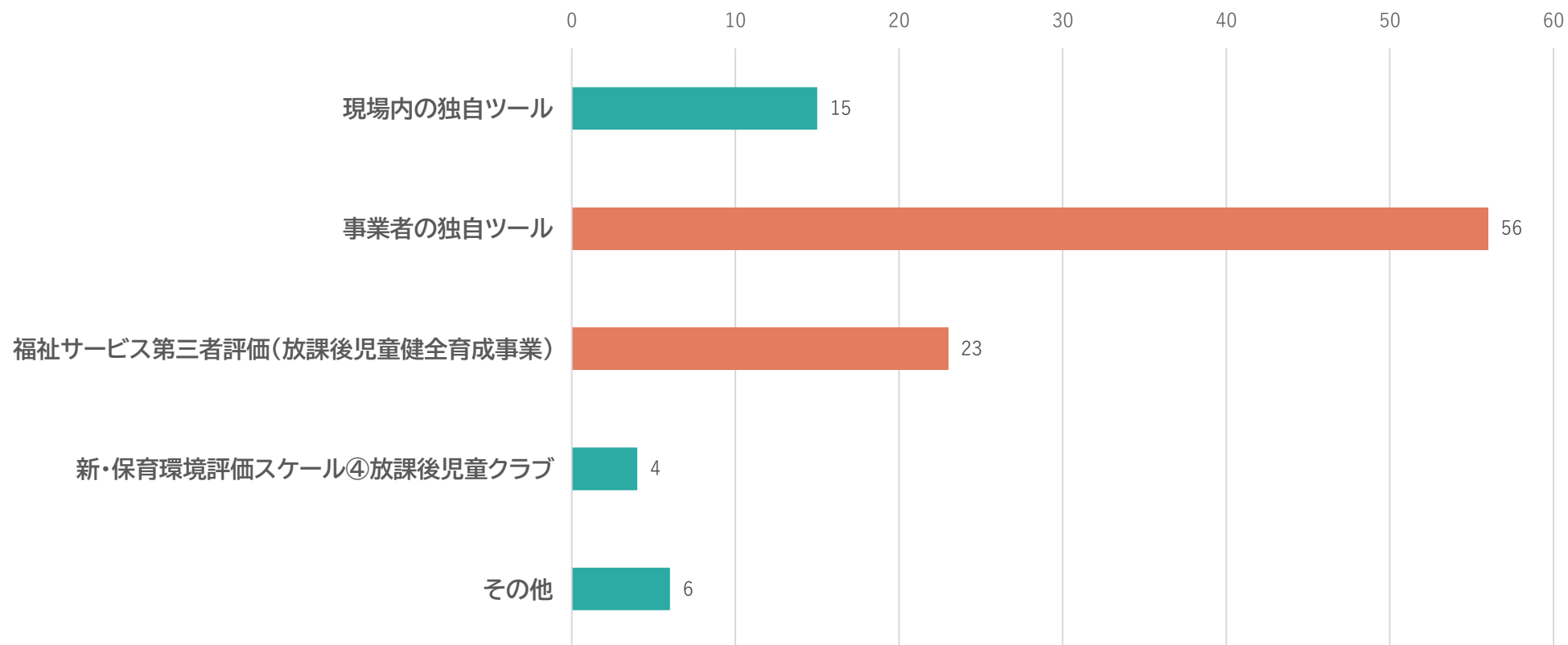
実施しているが32%、特に実施していないが26%

Q.自己評価の実施方法をお聞かせください。N=199



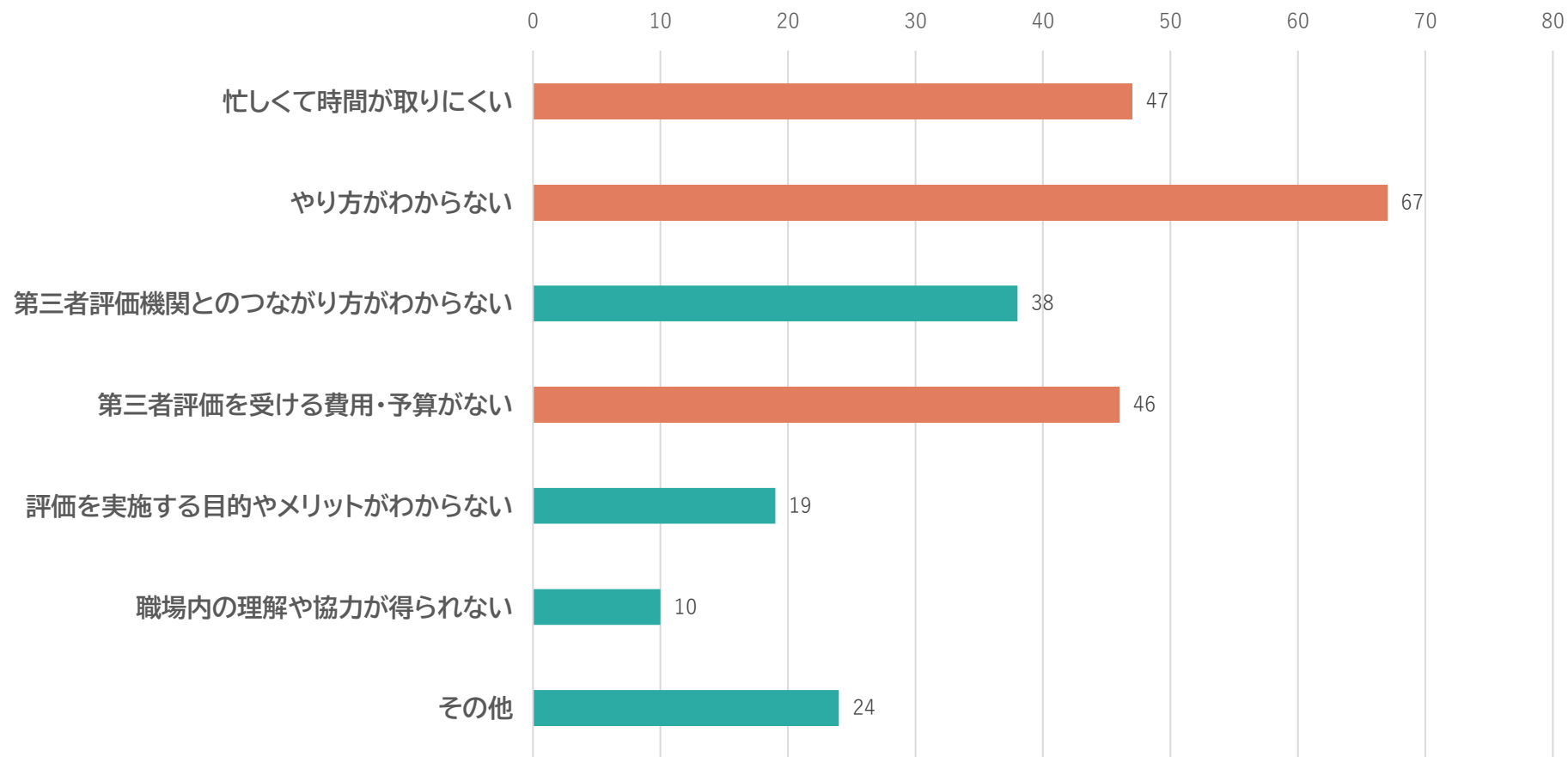
事業者や現場内の独自ツールでの実施が多く見られた

Q.第三者評価の実施方法をお聞かせください。N=104



「事業者の独自ツール」に次いで「福祉サービス第三者評価」

Q.実施していない理由・背景を差し支えない範囲で、お聞かせください。N=182



「やり方がわからない」に次いで、実施する時間や費用の不足